

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市高砂老人福祉センター	
2 指定管理者	社会福祉法人 仙台市社会福祉協議会	
3 指定期間	令和4年4月1日～令和6年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和5年度 24,908人(前年度比 110.1%) 令和4年度 22,621人 令和3年度 15,281人	
	《事業》 市内に住所を有する60歳以上の高齢者に対し、各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する。	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 37,870千円 (37,870千円) ・ その他市が負担した費用 860千円 (0千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 令和6年2月～3月に利用者アンケートを実施した。また、運営懇談会、地域委員会、意見箱の設置等を実施した。	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	老人福祉センターの設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解している。 また、利用者の健康づくりや、公平・公正な利用、高齢者の特性を理解したうえでの心身への配慮に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。	33/33
II 施設の運営管理体制	必要数の職員が配置されており、職員間では円滑な連携が図られ、適切に運営されている。経理書類も適正に作成されている。 また、個人情報の漏洩や滅失を防止するため、管理責任者を定め職員への周知等の意識啓発を行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。 事故や災害の発生に備え、対応マニュアルの策定、連絡体制の構築、併設の児童館やコミュニティ・センターとの合同防災訓練等の取り組みを行っている。	24/24
III 施設・設備の維持管理	利用者の安全・安心・快適な利用を維持するため、施設内外の清掃を適切に行い、事故防止のための館内巡回も行われている。 また、節電やごみ発生の抑制、グリーン購入を実施するなど、環境に配慮した施設運営を行っている。	24/24
IV サービスの質の向上	利用者が気持ちよく利用できるよう、丁寧な対応と分かりやすい説明を心がけている。また、毎月のセンターだより発行など、利用者への情報提供や施設のPRも積極的に行っている。 さらに、利用者の意見や苦情に対し、その対応手順や担当者を明確にするとともに、市が実施する利用者アンケート、管理運営委員会における意見交換等により利用者のニーズを把握するなど、利用者の意見を反映した施設運営に意欲的に取り組んでいる。	28/28
V 施設固有の基準	高齢者が自ら学んだことを発表する機会の設定を積極的に行なっており、利用者の主体的な企画実施に対する支援も行っている。 また、利用者の代表者や地域で構成する委員会を開催し、利用者が施設運営に関わる仕組みづくりを推進しており、利用者意見を取り入れた企画の立案を行っている。	9/9

三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人 仙台市社会福祉協議会）による自己評価》
<p>令和5年度は新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に引き下げられた。当センターでは利用者へのアンケート、愛好会等との意見交換を実施するなど、利用者の意向も踏まえながら段階的に感染症対策を緩和し事業を展開した。</p> <p>浴室の利用については、11月に浴槽のお湯から基準値を僅かに超えるレジオネラ菌が検出される事案が発生した。仙台市保健所の指導により浴室の営業を一時休止し、利用者138人の健康状態の確認、ろ過器設備の点検・修繕、浴槽の消毒等衛生管理の見直し、さらに職員を対象とした仙台市保健所による衛生講習会を実施するなどの改善措置を講じて浴室利用を再開した。</p> <p>認知症カフェ「ゆうゆうスマイルカフェ高砂」やミニカフェ「よってけらいん」を飲食なしの形式にて開催した。内容は「高齢者の難聴の理解」、「スマートフォン教室」、「終活セミナー」「健康講話と健康体操」等、多様な企画を実施し、より多くの方の興味関心を集めるよう取り組んだ。</p> <p>また、感染対策を講じながら、「高砂老福活動発表会2023」や「市民センターまつりでの生活相談窓口」、「カラオケうた祭り」など、利用者同士の活発な交流の場を創出することができた。</p> <p>運動を取り入れた新たな教室として「太極拳教室」を開催した。また、「初心者のための卓球ミニ教室」を実施し、事業終了後、自主グループ化することができた。</p> <p>「健康講話と健康体操」では「フレイル予防」についての講話と体操を一体的に行った。カフェでは地域の介護予防自主グループによる体操指導を行い、「市民センターまつりでの生活相談窓口」では、薬剤師会による健康チェック、フレイルチェックを実施した。</p> <p>身体機能の維持・向上を目的として週2回行っている生活支援通所型サービスについては、平均利用実人数は14.92名/月（R6.3末まで）となっており令和5年度で終了した。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和5年度の管理運営について、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。</p> <p>感染症対策では、新型コロナウイルス感染症が5類に移行した後も、利用者の意向も踏まえながら段階的に感染症対策を緩和し事業を展開し、安心して利用していただけるよう取り組んでいることから、リスク管理が適切になされている。</p> <p>施設において、浴槽のお湯から基準値を僅かに超えるレジオネラ菌が検出される事案が発生したものの、仙台市保健所の指導により浴室の営業を一時休止し、速やかに利用者の健康状態の確認、ろ過器設備の点検・修繕、浴槽の消毒等衛生管理の見直しをしたほか、職員を対象とした仙台市保健所による衛生講習会を実施するなど適切な対応策をとっている。</p> <p>認知症カフェやミニカフェを開催し、「高齢者の難聴の理解」、「スマートフォン教室」、「終活セミナー」等、多様な企画を実施し、多くの方の興味関心があるような事業の企画・立案がなされている。</p> <p>また、「高砂老福活動発表会2023」や「市民センターまつりでの生活相談窓口」、「カラオケうた祭り」などを実施し、利用者同士の活発な交流の場を創出にも努めている。</p> <p>以上のことから、総合的に高く評価できる。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

© 評価担当課(施設所管課):健康福祉局保険高齢部高齢企画課